

自然からのメッセージを受け取る

Midrist Vol. 7

石川・松任健康の里 細川洋幹さん（石川県白山市）



「+みどり計画」を始動させてすぐ、「+みどり計画の応援隊（※）となつてくれた方から「紹介したい人がいる。」と教えてもらったのが、石川県白山市にある石川・松任健康の里の代表を務める細川洋幹さんだつた。

細川さんは自身も農場運営者として自然農法に取り組んでいるが、もっと多くの人々が自然農法や有機農業に触れる機会を増やしていきたいと、近年は北陸3県（富山、石川、福井）の有機農業の普及・指導に力を入れているのだという。自ら農場運営をしているうえに、さらに指導もしているなんて！それは実際に会つて話を聞くとなるじゃないか。といふことで、白山市の松任地区に向かつた。

石川・松任健康の里に着くと、まず目につくのは野菜の販売所だ。OPENの看板を信じて中をのぞくと、無人。買いたいものの金額を自分で計算して、お金を箱に入れば支払終了、というシステムらしい。これ、盗まれない！？と思つていたら、ビシッと整えられた髪型の男性が顔を出したので、何もしてないのに一瞬緊張する。細川さんだ。

実は細川さんは、自然農法の普及や研究を行う、一般社団法人MOA自然農法文化事業団の北陸支所長。自然農法について、自然農法に携わっているわけだが、「みどりの食料システム戦略」や北陸農政局の「+みどり計画」のことをどう見ていくのだろうか。実はそこも気になつていった。ひととおり「+みどり計画」を立ち上げた意図を話すと、真剣な顔で話を聞いていた細川さんが口を開いた。



※「+みどり計画」と一緒に盛り上げてくれるサポーター「+みどり応援隊」をプロジェクトHPで募集している。



「国がみどりの食料システム戦略を策定し、そのあと法律を施行した時、ついに國も有機農業や、自然農法を本気で推進する時代になつたんだって思つたんです。そしたら今度は北陸農政局さんが地域に着目した、独自のプロジェクトを立ち上げてくれた。私ね、本当に感動したんです。ずっと有機農業や自然農法の関係者は変わり者と言われたり、虫が飛んでくると苦情を言われたり、本当に日の目を見なかつたが、この北陸で農政局さんがさらに積極的に広めようしてくれている。全面的に「十みどり計画」の推進に協力したいと思います。できることはなんでもしますよ！」

正直、驚いてしまった。

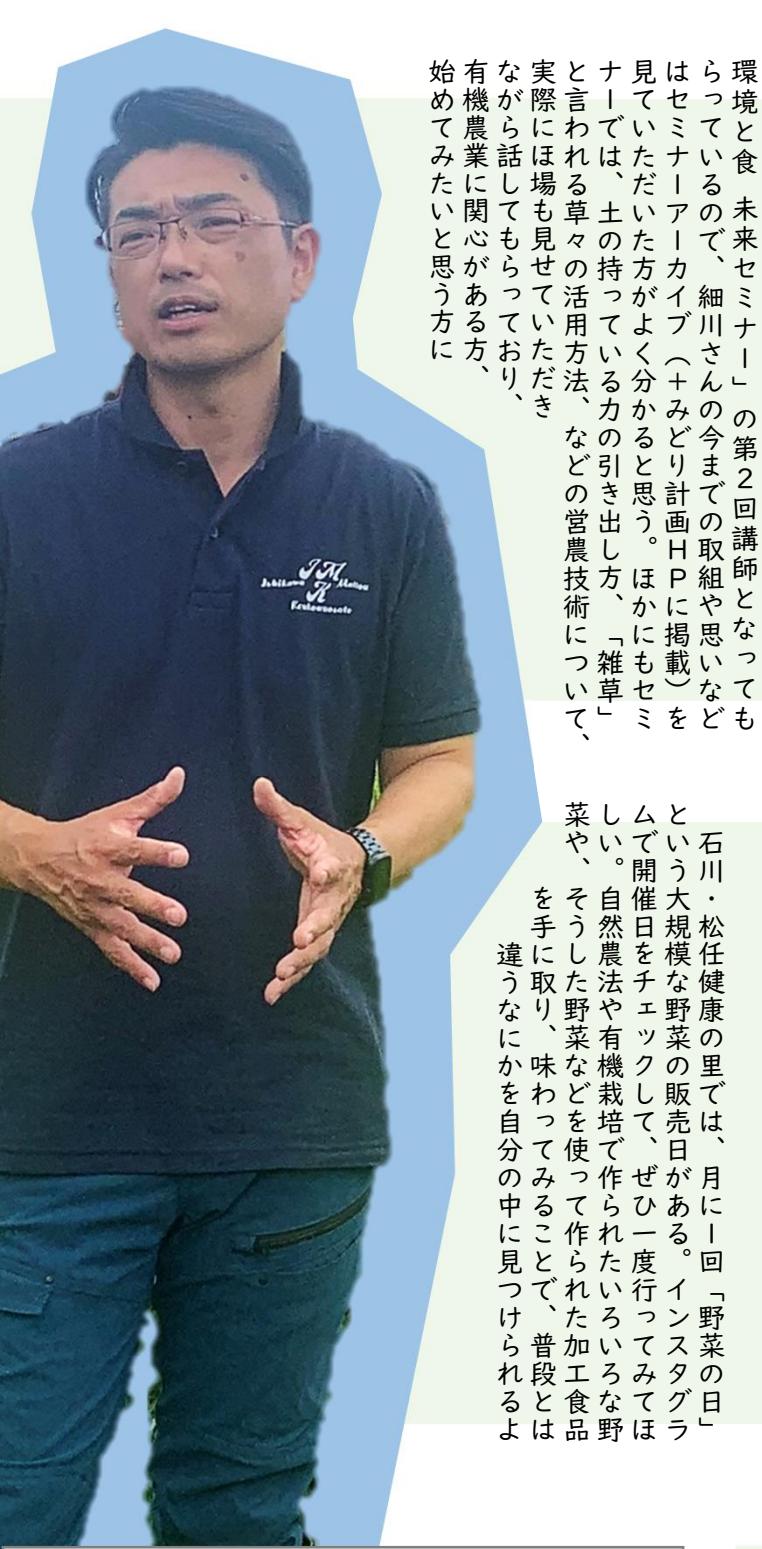
もちろんこんな風に思つてもらえていることが大変嬉しかつたのだが、ずっと前から有機農業や自然農法に取り組んでいた人の中には、”今更なんだ” “この戦略は本当に農家のことを

なに賛同してもらえるなんて。話をするのが楽しすぎて、気づけば4時間以上話し込んでしまった。

石川・松任健康の里では、自然農法で大豆、オクラ、ズッキーニ、玉ねぎ、ナス、トマト、花きを作つているほか、平飼いでニワトリも飼つている。米も作つているが、こちらは地元の幼稚園・小学校の体験ほ場となつていてる。

細川さんにとって自然農法とは、たんに農薬や化肥料を使わない「農法」というだけでなく、自然の力や自然からのメッセージを聞ける媒体なのだとと思わせてくれるし、細川さんも、事務所でお話を伺つていた時より、ほ場にいる方がずっと樂しうだつた。これも自然の力なのかもしれない。





話して  
くれた。  
なお、細川さん  
には、+みどり計画の  
一環で開催している「地域の  
環境と食 未来セミナー」の第2回講師となつても  
らつてはいるので、細川さんの今までの取組や思いなど  
見ていただいだ方がよく分かると思う。ほかにもセミ  
ナーでは、土の持つてはいる力の引き出し方、「雑草」と  
言われる草々の活用方法、などの営農技術について、  
実際にほ場も見せていただきながら話してもらつており、  
有機農業に关心がある方、始めみたいと思う方に

農法に目を向ける必要性も説いてくれた。

細川さんは、けして慣行農法は必要だと話す。でも、これから先の環境を考えると、有機農業や自然農法を否定するわけではない。食料を安定的に生産するためには、まず聞いていただきたい内容になつている。



うな気がする。あとは、松任健康の里に居座ることにした元野良猫の“にゃん”や、二ワトリ小屋の隣にあるウサギたちに餌を食べさせて、現代社会で知らず知らずのうちに蓄積された疲れを癒しに行く、というのもありかもしない…。



## DATA【石川・松任健康の里】

農法: 自然農法

品目: 大豆、オクラ、ズッキーニ、玉ねぎ、トマト、ナス、小松菜、チンゲン菜、カブ、ブロッコリー、カリフラワー、花き、鶏卵 等

【直売所】  
石川県白山市徳光町3839-2  
営業時間 10:00~16:00  
※休営業日は石川・松任健康の里のInstagramよりご確認ください。



Instagram:  
@kenko\_nosato



Writer: 首藤